



# 伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

## 週報 第 2632 回例会

2021.3.23 (火) 於 サンパレー富士見

2020-21

RI 会長 柳が・けん ガバナー 志田 洪顯  
会長 土屋 雄三 幹事 土田 哲  
会報委員会 兵藤 弘昭・木内 昭夫 望月 隆一

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352  
例会場 ホテルサンパレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1  
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564  
URL [www.izuchuo-rc.org](http://www.izuchuo-rc.org)  
写真: 柿田川 (伊豆半島ジオパーク)

### 会長挨拶

会長 土屋雄三



前回の例会は、約3か月ぶりという事で出席していただけるだろうか正直心配をしておりましたが、お一人の欠席のみでほぼ全員出席という事で、元気な皆様のお顔も揃い安心いたしました。ありがとうございます。まだコロナが終焉してない中、変異種のウィルスが増えてきているという事でアクセル全開はできませんが、お互いに感染予防に注意しながら、活動していきたいと思っております。ご協力お願い致します。また、前回の例会で紹介いたしましたヤマネコ学舎と3.11を忘れない仲間たちの狩野川公園でのイベントが無事行われました。主催されたヤマネコさんと沢山のボランティアの皆さんが被災された東北の皆さんに対し皆で頑張ろうというメッセージをたくさんのフライヤー

に載せ会場に張り盛り上がりを見せておりました。たくさんの人が来場され、多賀城市の市議員の方も遠方よりお越しになられておりました。それに加えて、三島RCの山岡さんの桜プロジェクトメンバーやせせらぎ三島RCさんもパネル展示をしてさらに会場を賑わせてくれておりました。

市川代表も伊豆中央RCの例会に参加し、メンバーの皆さんの募金協力に感激され、そこから支援の輪が広がったと大変感謝してくれました。皆さんの温かいご支援に感謝します。そして後日談として、市川さんが教えてくれましたが、開催4日前に急遽、高所作業車をお願いしていた方が都合つかなくなり大変困った時に、水谷会員に相談したところ、次の日に伊豆市の波多野君を紹介してくれたそうです。当日は問題なくスムーズに開催でき、水谷会員に大変感謝しておりました。水谷さんご苦労様でした。

先週の火曜日には、次年度会長幹事会が下田で開催され、土屋会長エレクト並びに原田幹事が出席されました。いよいよ次年度第一グループの準備がスタートしたようです。地区行事に関しては、未だ一堂に会しての集まりはできそうになく、今年度同様、臨機応変の対応が必要かと思えます。これから今週末のPETSや地区協議会を経て、事業計画や予算が具体的になってきます。

そして、前回の9日の例会後に次年度理事役員会が行われ、次年度委員長予定者が決まったようです。次年度の委員長の方は、担当委員会について、ご自分のやりたいこと、興味のある事を、計画に盛り込んで頂ければよいかと思えます。ロータリー活動の幅も広がり、新しい未知な事柄にも取り組む良い機会になるのではないかと捉えて、ポジティブな気持ちで取り組んで頂きたいと思えます。

今年度は、クラブ奉仕として、身近な地域を応援する事を第一にさせて頂きましたが、地区の方針、クラブの戦略計画は、あくまでベースであり、すべてはこのクラブの活動が主体になります。頑張っていたきたいと思います。今晚の卓話は、前回同様ベテランでパスト会長の飯田健吾会員と山口会員です。

	出席総数	出席率	会員総数
今回	22/26名	84.62%	26名

今回の欠席者

小林 則行会員 紀平 幸一会員

柴田 三敏会員 竹村 淳一郎会員

## 卓話

飯田健吾会員  
山口和弘会員



10年前の2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が起きました。約2万人もの尊い命が奪われました。動画で見る津波のエネルギーの恐怖。立派な家も、快適な車も飲み込まれて行きます。子供を失った親、親を失った子ども達。辛さを乗り越えて生きてゆく人たちの強さ、手を差し伸べる人たちの暖かな思い。何から何まで、涙を禁じえませんが、そして福島第一原発の水素爆発災害。その数15万人とも言われる避難者は、ともかく現地を離れなくてはと行く先も告げられないままの避難。体育館やお寺での雑魚寝生活。福島県民の無念は如何ばかりか。

その後の毎年おきるマンモス台風や豪雨自然災害。人間の身勝手な生き方に地球は怒っているのではと思います。到頭新型コロナウイルスも怒りました。これは、人類への警告です。時速600キロで地底トンネルの中を原発の電気で移動する乗り物を造る事に夢見ていいのかと言う警告です。コンピューターを始めとする技術革新は、女性を開放したり、素晴らしい生活をもたらしてくれたりしましたが、地球を犠牲にして今だけ金だけ自分だけでいいのでしょうか。ロータリーで良く言われる不易流行。元々は松尾芭蕉の俳句の世界から来ているそうです。それでも、時代が変われば人の考えが変わるのも仕方ありません。イトーヨーカ堂沼津店が8月で撤退との事、寂しいです。

1978年(昭和53年)開店。この50年は世の中の変化が凝縮されている。並行して昭和45年には、コンビニ1号店が開店し時代は変わっていきます。今、経済手動の社会に黄信号が点きました。最近のSDGsキャンペーンもロータリー精神も他者への思いを大切にしようという事です。

コロナ禍に負けないでと、涙ながらに他者への気持ちのこもったリッチなスピーチをされるメルケル首相や人類の多様性を訴える米国カマラハリス副大統領には頭が下がります。日蓮上人も言っています。矢の走るのは弓の力、男のしわざは女の力也、と。ジョンレノンのイマジジンという曲は、みんなに笑われても一生夢を追い続ける平和を願う曲です。不要不急? 不要不急な事が大事なんです。それが無いと人間生きて行けません。そうでないと、生きてる事じたい不要不急になってしまいます。変える事も必要だけど、変えない事も必要。もう一度言います『不易流行』。

## スマイル報告

### ●土屋雄三会長 土田哲幹事

飯田健吾会員、山口会員卓話よろしくお願ひします。

### ●雨宮演邦パスト会長

日々春らしくなってきました。桜も次の例会の頃は満開かもしれません。なんとなく陽気になっていい気分ですね。早くコロナが下火になれば最高です。

(本日のスマイル合計 ¥3,000)